

建廃協NEWS102号



★講演の集い開催

令和6年10月30日（水）日本教育会館一ツ橋ホールにて、令和6年度「講演の集い」を開催いたしました。講演の部には約180名の方に参加いただきました。

今回のテーマは「カーボンニュートラル（脱炭素）とサーキュラーエコノミー（循環経済）の実現を目指して」とし、下記内容で行われました。

講演の始まりに富山理事長より挨拶及び「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「地球温暖化」「リサイクル技術」の課題、問題提起がありました。

1部は株式会社ゼロボード営業本部 第1エンタープライズ部長 片山賢様・カスタマーサクセス本部 カスタマーサクセス部 部長 津倉仁奈様より「脱炭素をめぐる建設業界の最新動向とゼロボードのご紹介」と題して講演を頂きました。地球温暖化対策として産業界で脱炭素に向けた取り組み、また建設業界でもGHG排出量の算定目標、削減に向けた動向の報告がありました。



2部は佐藤泉法律事務所 弁護士 佐藤 泉様より「循環型社会という新たな時代の挑戦」と題して講演を頂きました。今年度8月に循環型社会形成推進基本計画の閣議決定されたとの報告があり、資源効率性・循環性を向上させ天然資源利用の削減を進める取組は気候変動対策や生物多様性保全など環境負荷削減策として極めて重要との報告がありました。終了後のアンケートで質問があり回答いただいたものは[こちら](#)をご参照ください。



3部は環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長 松田尚之様より「資源循環の促進のための再資源化事業の高度化に関する法律について」と題して講演を頂きました。資源循環への対応は、環境面のみならず、経済・社会面からも重要な社会課題であり、循環経済の移行は国家戦略として取り組みながら社会的課題を解決していかなければならないと報告がありました。

講演後、日本教育会館9階の喜山倶楽部にて、懇親の部には約150名の方にご参加いただきました。

富山理事長の挨拶から始まり、環境省 松田尚之様、日建連副産物部会 高崎部会長様よりご挨拶を頂戴いたしました。日建連副産物部会 高橋副部会長様の乾杯のご発声で懇親の部が和やかに始まりまし
た。

講演会のお話等で、皆様盛り上がっていました。最後は吉田理事の3本締めで散会となりました。 レポート：(株)光洲産業 塚原



★建設廃棄物関連機関 韓日業務協約に向けて

6月に韓国の視察団を光洲産業とワイエムエコフューチャーで受け入れたのをきっかけに、交流ができ、今回韓国の施設を再資源化委員会が視察に行きました。その時に韓国側からの申し入れで、業務協約に向けた基本合意を行いました。韓国建設資源協会、韓国建設資源共済組合と、建設廃棄物リサイクル産業の活性化に向け建設廃棄物技術やりサイクル政策などの情報交流し、今後の発展的な関係のための協約を結ぶということです。来年の50周年の時に、韓国側をお呼びし締結する段取りとなります。詳細については、順次建廃協NEWSでお知らせいたします。

10月11日に釜山の中間処理施設、積替え保管施設を視察しました。日本とはまた違った法律での縛りがありますが、韓国の廃棄物事情が分かりました。再資源化委員会の視察報告は[こちら](#)をご覧ください。

